

心を育む清掃活動が10回目

大浦小学校5年生が大浦池周辺を清掃



10月30日、大浦小学校5年生の児童16人が大浦池周辺を清掃しました。これは「大浦ヶ池をきれいにする会」の活動のひとつで、同校と毎年開催。子どもたちが自分でごみを拾うことで、地域をきれいにしようという心を育てています。10回目を迎えた今回は村上卓哉市長も参加。「大人になってもこの経験を忘れず、きれいなまちを守ってほしい」と話しました。

地域で声かけ・見守りを

夏吉区で高齢者等SOS模擬訓練を実施



高齢者等SOS模擬訓練は、道に迷っている高齢者や認知症の人を発見したときの対応方法を学ぶものです。11月12日に市と関係機関、夏吉区が協力して訓練を行い、住民など約70人が参加。地域における連携や見守りの強化を図りました。参加者は行方不明者役の人に「どちらに行かれるのですか？」と声をかけ、保護して通報するなどの対応を実践しました。

子どもたちの安全を守りたい

田川防犯協会連合会が防犯ブザーを贈呈



10月16日、市役所で田川防犯協会連合会による防犯ブザー贈呈式が行われました。これは、同会が「全国地域安全運動(10月11日~20日)」の一環として毎年実施している取り組みのひとつ。当日は、村上卓哉会長(田川市長)が各市町村の教育長へ防犯ブザーを託しました。この防犯ブザーは、子どもたちの安全を守るため、同会管内の小学校1年生に配布されています。

声援を兵庫県神戸市へ届けよう

全国キャラバン「スマレゾ*キャンペーン」



世界パラ陸上競技選手権大会(5月)の開催地・神戸市では、全国キャラバン「スマレゾ*キャンペーン」を展開。本市を含む、東京2020大会の「先導的共生社会ホストタウン」15か所などを巡って声援フォトを撮影するもので、11月21日には市役所にキャラバンカーが到着。パラ・パワーリフティングの山本恵理選手が、市民や市職員の声援と笑顔を撮影しました。

新型コロナワクチン接種

掲載内容は12月15日時点のものです。新たな情報がわかり次第、広報紙や市ホームページでお知らせします。

●9月20日から令和5年秋開始接種(追加接種)を実施しています(1人1回)

※未使用の接種券が手元にある場合は、その接種券が使用できます。紛失などで手元に無い場合は問い合わせください。

※個別接種は令和6年3月下旬まで実施予定ですが、接種体制を縮小していきますので、希望する人は早めの接種を検討してください。

【追加接種の対象】

初回接種を完了し、前回接種日から3か月以上が経過した生後6か月以上の人

※生後6か月以上の初回接種は引き続き実施しています。新たに生後6か月を迎え、ワクチン接種を希望する場合は問い合わせください。

●予約などのコールセンターを廃止します

12月28日をもって、電話で接種予約や問い合わせを受け付けるコールセンターを廃止します。1月4日からは、新型コロナウイルスワクチン接種対策室(☎85-7185)で接種予約や問い合わせなどを受け付けます。※WEB予約は引き続き受け付けています。

●ワクチン接種は任意です

新型コロナワクチンの接種は強制ではありません。接種による効果や副反応のリスクなど、両方の特性を理解し正しい知識を得たうえで、自らの意思で接種の判断をお願いします。

●予防接種健康被害救済制度があります

予防接種では、極めてまれですが、健康被害(病気になったり障がいが残ったりすること)が起こる場合があるため、救済制度が設けられています。詳しくは問い合わせください。